

気象庁によれば、中国地方の梅雨明けは例年に比べ1ヶ月遅れの8月5日と発表された。これは統計を取り始めた1951年以降では最も遅い。山陰地域では7月上旬は30度を超える日が多かったのに対して、梅雨明けとは言うものの台風の発生もあり、梅雨明け後も小雨の降る天気が続いている。教室の仲間は交代で夏休みを取っているが、折角の休みも雨では外出も億劫になる。日常臨床で忙しい毎日を過ごしている放射線科医にとって、夏休みが良い気分転換となってくれればと願っているが、自然は思うに任せない。

教育講演主体の研究会として、この断層映像研究会は3回目を迎える。過去2回が大都市開催であるのに対して、今回は地方の小都市での開催であり、期待する参加者が集まるかを最も心配している。鳥取大学は救急災害科の医師が全員辞職するという事で、昨年度末は全国的に有名になった。このことと今回のテーマである「待ったなしの画像診断」は全く無関係である。1日半の限られた時間で、診断を急ぐ疾患の画像診断を纏めて勉強して欲しいというのが趣旨である。教育講演を担当する講師の先生は、実力者揃いである。また、今回は講師の先生に無理をお願いして、講演内容の詳細なシラバスを作成することにした。更に、フィルムリーディングは単に読影の担当者が発表するのを聞いているのではなく、全員参加型のフィルムリーディングにしたいと計画している。間違いなく効率よく勉強ができるものと期待している。

秋は数多くの学会、研究会が開催される。今回の研究会は連休の前半に開催することから、交通機関やホテルの混雑を心配している。ただ、たまには海や山、そして温泉もある地方都市、米子でゆっくりと数日過ごすのも悪くはない。

第38回断層映像研究会大会長
鳥取大学医学部病態解析医学講座医用放射線学分野
小川 敏英

断層映像研究会雑誌

第36巻 第2号 (断層撮影法研究会雑誌より通巻)

2009年 8月20日 印刷

2009年 9月10日 発行

発行人 本田 憲 業

編集委員長 本田 憲 業

発行所 断層映像研究会

事務局住所 〒350-8550

埼玉県川越市鴨田辻道町1981

埼玉医科大学総合医療センター放射線科

TEL. 049-228-3439

FAX. 049-228-3753

定 価 2,000円